

日本工学院専門学校		開講年度	2020年度		科目名	ダンスⅧ（身体表現）	
科目基礎情報							
開設学科	声優・演劇科		コース名	声優コース		開設期	後期
対象年次	2年次		科目区分	選択		時間数	40時間
単位数	4単位					授業形態	実習
教科書/教材	特になし						
担当教員情報							
担当教員	今津雅晴			実務経験の有無・職種	有・ダンサー		
学習目的							
この科を受講する学生の、表現の場所（舞台上、メディア、スタジオなど）に立つ上での身体表現の幅を拡げ、機能的にかつ効率的に身体を使うことを目的とする。様々な表現が求められる現代において、パントマイム的な要素を軸に、解剖学的観点から身体の機能を理解しながら身体を扱う。ジャイロキネシスのカリキュラムなどを使用し、コンテンポラリーダンスなど感情と身体能力を結びつけることが狙いである。							
到達目標							
この科目で学生が日常生活の中から想像力を広げ、イメージを身体表現の幅として客観的な観点から観察し、理論的に身体表現を分析することにより、多種多様な個性を表現できる人間を育成し、身体表現能力の向上、コミュニケーション能力のより一層の向上、イメージの具現化を実現させる。これにより現代においての日本人のプライドを持ちながら、表現に自信を生み、想像力に溢れ、文化的な表現者の育成を目的とする。							
教育方法等							
授業概要	この授業では、個々の想像力を伸ばし、自分自身を知り、どのような表現者を目指し努力していくかということを明白にしていく事をテーマにおき、パントマイム、ジャイロキネシス、マーシャルアーツ、コンテンポラリーダンス、モダンダンスなど、様々なテクニックを身につけると同時に、自分にあった表現方法を見つけていきます。						
注意点	この授業において、学生自身が自分自身と向き合う作業を通して身体表現へとつなげていくため、その初めての作業に学生自身が困惑する可能性があります。そこからどのように興味を引き、クラス自身をエンロールし、グループ全体で作り上げる喜びを与えていきたい。表現する上で非常に大切な喜びということを念頭に置き、Why(なぜ?) What (何を?) When (いつ?) Where(どこで?) Who(誰が?) How(どのようにして?) 自分の表現方法をクリアにして、学生本人の可能性と向き合う。 授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	課題	50%	授業内で行う課題に対しての達成感				
	発表	15%	発表を行う事により客観性を養う				
	リサーチ	15%	自身の観察、探求を目的とする				
	発案・研究	10%	どのようなことを発案の起源へととなりうるか				
	平常点	10%	授業の参加度、授業内における態度				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	身体表現1			身体感覚の強調とイメージ			
2回	身体表現2			身体感覚による骨格動作性→ムーブメントに繋げる			
3回	身体表現3			身体感覚を文章、言葉としての表現→言葉から振付			
4回	身体表現4			言葉で振付したもの→そこから得るイメージ（身体表現1で行われたモノに対しての対比）			
5回	身体感覚と文章、ジェスチャーA			身体感覚、動詞、形容動詞を身体感覚としてジェスチャーとしての表現			
6回	ジェスチャーB（ゲーム）			ジェスチャーゲームを通して、人から伝わるイメージを客観的に捉える			
7回	ジャスチャーC（振付）			課題において客観性を持ち、振付			
8回	創作テクニック2→ダンス			創作テクニックから時間軸をずらし、身体表現へと繋げ、それが与えるイメージを分析			
9回	創作テクニック3→ダンス・マイム			創作したストーリーを関節の動作性感じながらダンステクニック・マイムテクニックへと繋げていく			
10回	創作テクニック4→ダンス・マイム			身体イメージと創作を繋げて、振付→映像へ			
11回	創作テクニック5→表現の視座			表現の視座を意図的にどのような形に到達させていくか、またどのように見せたいか？			
12回	視座コントロール→ダンス			ズームアップ、引き、フェイドイン、フェイドアウト、アングルチェンジetc→ダンス振付			
13回	コンテンポラリーダンス5			身体表現、パントマイム、コンテンポラリーダンスを構成、創作→表現としての視座を加える			
14回	コンテンポラリーダンス6			コンテンポラリーダンス創作→身体に落とし込む			
15回	コンテンポラリーダンス7（発表）			コンテンポラリーダンス創作→発表			